

を重要とし、其の構成体の大衆意見を合理化して行動に移し、即ち日常の生活を基とし大衆の  
偽はらざる總意を行動に移し、吾等労働階級の幸福具現に向つて邁進すべきである。  
結語 實に労働者の眞の徳を求むる人類共存の大義にあるべし、工場破壊にありし産  
業の否定にあらず、文明の呪詛ではない工場、不正、産業の不正、文明の不正を革  
正して工場を完備し、産業を充実し、以て人類本意の文明を完成するに在る。今や我  
が東京工帯組合が金屬機械工の盟友を以て創立以來第十回の年次大會を遂げた。幾多  
の苦難を克服し、此の苦難に直面しつゝ、五支部を完成し、更に組織は燎原の火、如  
く擴がりつゝある事は本大會に於て更に勇躍、吾等の主張を高揚するの確信を持つ。  
今や對立されつゝ、あつた力は確乎たる進路を見出し、しっかりと手を握りあつた吾等は  
今こそ吾々のみが持ち得る心と心の團結を以て、吾等人生の光明に向つて前進を続け、  
其の過程に於ける一切の苦難を克服するの勇氣と確信に燃え、居る大地の如き労働  
者の眞の力を以て一歩より一歩の建設をして行かう。正義を尊き、入眞の使命に猛  
進しよう、大膽にしかも冷静に細心に力強くありゆる努力を吾等の牙城組合の成長に  
傾注しようではないか。

昭和六年三月七日

### 東京工帯組合第十回年次大會